

現代用語



自由国民社版

時代の鼓動を反射する新語外来語の宇宙・

の

基礎知識

1976

アメリカの構える五つの戦争グラフ

イデオロギーの変化を
理解する用語集

内ゲバ・赤軍・爆弾闘争
を理解する用語集
世界のゲリラ分布図
各県別各政党
現勢グラフ



海洋法グラフ

食生活はどう変わるか

“科学技術の夢”用語集

20世紀末までにどう実現するか

台所汚染と防ぎ方一らん

主食・副食・調味料・飲物・菓子・洗剤・容器まで

日本批評

〔寄稿者紹介〕 西ドイツのヒールシャー氏は日本語で、またパキスタンのカーン氏、インドネシアのペイ氏そしてカナダのホルバート氏の三人の方は、それぞれ英語で原稿を寄せられた（翻訳はジャパンタイムズの田畠正儀氏をわざらせた）。四氏とともに数年もしくは

それ以上の日本滞在で、いずれも日本語に堪能な知日家である。所々に日本語をたくみにとり入れてビリッとワサビのきいた寸評となっているばかりでなく、日本人がとかく忘れ見過しがちな重要な問題を指摘していることは見逃せないところである（編集部）。



時は過行く「瓢箪鮓」

ユースフザイ・カーン・U.D.
ニュースタイムズ・ムサウト特派員
(パキスタン)

日本は一九四五年八月十五日、天皇の初のラジオ放送による国民への呼びかけをもって降伏した。三十年後同日、記念式典において同じ天皇は三百万人の戦没者の靈の冥福と平和の為に祈りを捧げた。三木首相は戦後初の総理大臣として靖国神社を訪れた。その間には、敗戦國から経済大国に成長し世界政治の第一線に仲間入りするため費された長い年月が横たわっている。国民の生活水準は戦前とは比較できない程上がっている。日本は三十年をふり返って満足する幾つかの理由を持つている。然し三十年目の敗戦記念日にあたり、日本の戦後の



戦後三十年、戦争は過去となつたか

ゲーブルト・ヒールシャー
(ジエートドイチエツアイトワング
(南ドイツ新聞) 極東特派員

発展を願ひ見る時、気づかわれるのは真剣な過去の克服の努力がどこにも見られないことである。日本では戦犯裁判は占領時代にのみ行われたが、戦犯の不足がその理由ではない。一九五二年、主権回復後には、戦時下の戦争責任を負った政治家達が堂々と返り咲いたのである。戦争の後片づけ、原因と責任の究明は戦後の青少年教育の場では、殆んど問題にされなかつた。それ所か、戦争を起した者の罪はばかされ、誤解を招くような表現に包まれてしまつた。日本の国民の過半数を占める戦後世代は彼等の父達によつて行われた戦争犯罪について何ら確固とした理解を持たぬまま成長して来たのである。従つて戦後日本はアジア隣国と眞の和解への努力を怠つて来た。賠償金も支払われたが、明解な罪状認知の代りに無償借款の形がとられた。損害賠償を辞退した中国に対しても、田中前首相は国交回復に際し、詫び言らしきものを述べた。この日本の姿勢は終戦三十周年式典でも自国の苦難と死者については多く語られたが、幾百万の韓国、中国、フィリピン等の犠牲者にはついに言及されなかつた。

「水無くば将来も無し」と言われる。さほど中東の国々は開発に際し水資源と熟練技術者の不足という二大障害にぶつかつているのだ。皆大胆な工業開発計画を持ち、その実現のためあらゆる手だてをさがしている。先般アラブ諸国が「プラックゴールド」の価格つり上げとともに売却先も選択すると決めたとき、日本のおどろきぶりはまさに「寝耳に水」。綱渡り名人の日本の官界・財界のお偉方はさつそく中東の産油国もうでをした。アラブ人とイラン人は世界中で少くとも誰かしらは気にかけてくれていたのだとなり歓喜した。くだんの開発計画に対して、すぐさ

ま協力する旨約束がなされた。あれから丸三年たつが一向に実行に移されていない。私もよく産油国の人々からこれはどうしたことかと尋ねられるが、石油供給継続の約束をとりつけて安心しきつた日本の指導者は実はその見返りを実行する力に欠けていると思う。産油国側の実力者は供給を実行するだけの権限があるというのに。一方、産油国買物リストは「日本の」テクノクラートや事務官僚に手わたされ、やれフライジビリティだ何のと分析される。その答えはない。

近代及び古典経済学のどこにもこんな状況はあるまらない。ケインズもサムエルソンもガルブレイスもフリードマンもいやマルクスさえこんな事態を予見してはおらなかつた。砂漠の奥深く鉄鋼や自動車工場の建設を望むとは！ 一旦約束された経済協力は「検討」の結果水や労働力の不足から実現出来ぬとされた。まさに「へたの長談義」だ。某先進国は日本のあとからスタートして、ぐだぐだしいことをいわず経済協力の実を上げている。日本はもつと受け入れ国の実情を知ることだ。時は過行く、瓢箪鮓。

第一次拡大版・昭和35年9月、A5判920ページ、収載語数1万2775語

創刊号・昭和23年7月
日6判80ページ、収載語数628語



在日外国人ジャーナリストの“戦後三十年”的



日本の危機の本質

アリ・ファイン・ペイ
フリーのジャーナリスト
(インドネシア)

日本人はよく今日の危機を世界的なstagフレーンジョンのせいにし、その原因はいわゆるオイルショックにある。一般的の日本人にとってみれば、発展途上の産油国が最低価格で売り、一方工業製品を「マーケットプライス」と婉曲に呼ぶ値段で輸入することに甘んじていればすべてがオンの字で再びうまくいくというわけだ。また経済力を回復すれば危機も去ると思うのだろう。しかし現下の危機は経済的原因よりさらに深いところに根ざしている。それは国民的なものにしろ個人のレベルにせよ「目的」の欠陥にある。



政治テロ——民主主義への脅威

アンドリュー・ホルバート
フリーのジャーナリスト(カナダ)

自分の選んだ、様々な生き方ができる自由はすべての民主主義国家を特徴づけるものだ。過去六年の在住で、私は日本の友人達がこの権利を享受しているのを知っている。がその恩恵は恒常的なものではなく、またいつでも失われてしまう危険にさらされている。

今日、日本政府は他人のささやかに日常生活をいとたむ権利を犠牲にしてまで、この自分の思うまま振舞う権利行使しようと欲する輩の挑戦を受けている。昨年八月の日本赤軍によるクアランブルの米国大使館占拠はその典型だ。事件発生後七時間を経ずして福田副総理指揮のもと日本政府は彼らの要求に屈服し

戦後日本の思考様式は「逆転」した。明治以来帝国憲法下、國家とか天皇を重視し、報國又は愛国心の大和魂に教育の力点は置かれた。今日の政治的視点から「悪」とされる事柄がかつては「良かった」のだ。よつて「國家」とそれに帰属する一連の物事は否定されるべきだと議論がある。尽忠報國だの精神の美と力などという教育目標も「ふるい」のだとされる。そんなニッポンに他民族の愛国心のほどが理解出来るのだろうか。

個人主義だの、法と秩序への冷笑だの、物質崇拜だがとつて代った。他民族の精神生活を尊重出来るのだろうか。全体主義になれとは言わぬ。しかし戦前の日本が「個」無視の国家だとしたら、今の日本はそれが国家をして国家たらしめる民族的目的なき個人の集団といえよう。どこかに中間点を見いだすべきだ。

富の追求以外に国家的目的をもたぬ日本を、国際社会の有益な一員とみなすわけにはゆかない。それはマイホームズムの域を出ず、社会の存在を認識しない「個人」の精神的な危機にほかならないと思う。

た。刑事被告たる五人のテロリスト達は仲間の五人と合流、政府派遣の旅客機でリビアへ飛んだ。この時もし米国の外交官がひとりでも射殺されていたら、くしくもフォード大統領と三木総理がワシントンでお茶でも飲んでいた頃であり、重大事態となつただろうとの論評もあつた。首脳会談のため総理が訪米中の出来事だった。かくして一個の人命だけ失なわれず解決をみたと胸を張つて総理はニューヨークで言えたのだ。しかし疑問は残る。はたして五人の爆弾魔等凶悪犯は「人命尊重」の名に値するのか、と。

国内法との関係はさておき、彼らの釈放は重大な危険性をもつ。今や十人の狂犬どもは野に放たれた。人質は戻つたが、無辜の人々が将来射殺されるかもしれない。他のテロリストも味を占めかねない。政治家は人気と票を氣にして流血の事態を嫌う。テロリストを強硬に弾圧するなどさけようとする。かつてこの国がアシズムの嵐をおさえきれなかつたように暴力のなすがままに放つておくなら、人々がやがてその気風に染

第二次拡大版・昭和47年1月、B5判1360ページ、収載語数3万2千語

現代用語の基礎知識1970
現代用語の基礎知識1971
現代用語の基礎知識1972

現代用語の基礎知識1969
現代用語の基礎知識1970
現代用語の基礎知識1971

現代用語の基礎知識1972
現代用語の基礎知識1973
現代用語の基礎知識1974

現代用語の基礎知識1975
現代用語の基礎知識1976
現代用語の基礎知識1977

現代用語の基礎知識1978
現代用語の基礎知識1979
現代用語の基礎知識1980

海洋法と影響グラフ

私たちの食生活は
どう低下するか

農政調査委員会 山路 健

Ⓐ世界経済水域200カイリと日本漁船の漁場

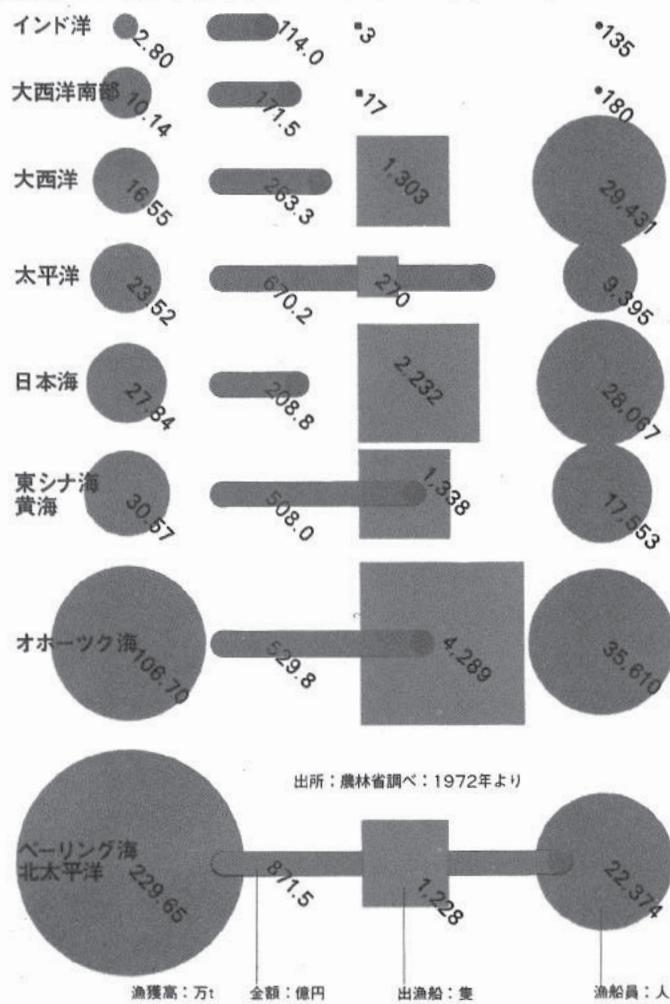


出所：水産庁資料から作成。●=外海 ■=内水面 =各100万t

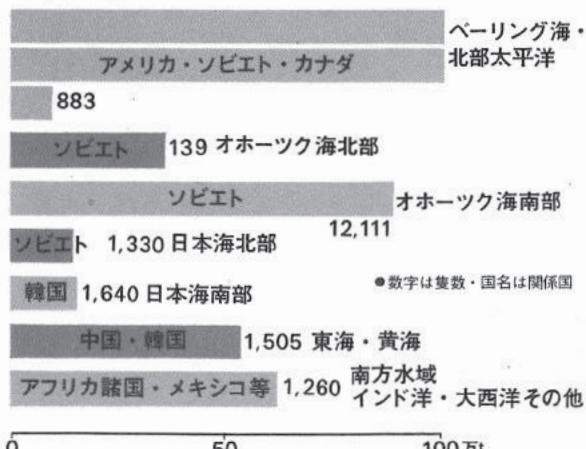
注：太平洋北東部・中西部水域における日本の生産量は
便宜的に太平洋、大西洋水域に含めて計上した。

出所：FAO「水産統計年鑑」1971年より作成。
図説「世界の食料」家の光協会発行。

Ⓑ沿岸200カイリ以内におけるわが国の遠洋漁業



Ⓒ外国距岸200カイリ内での魚獲高



0 50 100万t

1974年6月20日から70日間にわたってベネズエラの首都カラカスで行われた第3次国連海洋法会議は、ラテンアメリカ諸国の主唱する領海12カイリ、經濟水域200カイリ説に先進国が全面的に譲歩した。カナダ、オーストラリア、ノルウェーなど自国の沖合いに豊かな漁場をもっている国は經濟水域200カイリを積極的に支持した。その後に条約草案が作成され、經濟水域ができても伝統的漁業が、2国間または多国間取決めにより存続しうる手掛けは残っているものの、日本のように領海3カイリ説を主張し、あとは自由な公海として漁獲高世界一を維持してきた国は、致命的な打撃を受け、それはただちに我々の食生活の低下になって現われる。いかに影響するかをこのグラフで見て対策を考えよう。（なお次の国連海洋法会議はニューヨークで1976年3月29日から8週間の予定で行われる）



中核派、革マル派の「内ゲバ戦争」について、よく「近親憎悪」という言い方がされる。どちらも、昭和三二年に生れた革命的共産主義者同盟(革共同)を母体とする「兄弟セクト」だから。革共同は、三〇年の第六回全国協議会(六全協)で軍事方針を自己批判したり、三一年のスターリン批判でぐらついた日本共産党を不満として、トロツキズムに傾倒する一派が、反スターリズムをかけてつくった革共同系の中核と革マルは三八年の分裂以来、並行して着実に力をつけ、いわゆる新左翼の中主力勢力となっていた。その勢力争い、主導権争いも、両者の内ゲバの原因だったといえよう。しかし、単に近親憎悪とか、主導権争いといったことだけがその原因では、もちろんない。そこには、組織のあり方、運動のすすめ方にについての、根本的な対立があったのである。

また、革共同は「反帝国主義」「反スターリニズム」をスローガンとしたが、その「反帝」「反スターリニズム」論の相違も双方にある。たとえば、キューバ問題について「反帝の任務を果すことが急務で、反スターリニズムはそれがその急務で、反スターリニズムはその中でうち出さるべきである。たとえば、キューバ革命干渉反対のデモをアメリカ大使館にやろう」と主張した中核派に対し、革マ

ル派は「キューバはスターリンにたいして「組織づくりの革マル派」といわれる。「大衆闘争」に、三七年の大学管理法案粉碎闘争の統一行動などで、他党派との統一行動のあり方をめぐって意見が分れた。中核派が「大衆運動においては他党派とも一致した点で統一すべきである」と主張したのにに対し、革マル派は「他党派は批判、粉碎、解体運動論についても、労働者階級すべき対象で、統一行動は野合である」と「組織純化」を説いたのである。

運動論についても、労働者階級との連帯に重きをおく革マル派に対し、中核派は、学生が労働者の先駆となつてまず行動することを主張する。「組織の革マル」に対して「行動の中核」という言葉があるのもそのためのものだ。

以上のような組織論、運動論の相違による対立は、三八年の分裂以来づくが、現在のような殺人テロまで伴う悲惨な内ゲバ戦争に突入したのは、ここ数年のことだ。その「火ブタ」を切つたのは中核派であり、同派は四四年一二月の全学連大会で、革マル派を「武装反革命集団」「第二民青」と規定、そのせん滅宣言を出した。そして、昭和五〇年七月一八日、東京・新宿駅での中核・革マル両派の衝突で、計三三〇人が逮捕され、うち中核派一三人、革マル派二三人が、実力行為で起訴されたが、そのほかに多數の負傷者が両派に出た。その裁判の費用や治療費はかなりかかるわけ

内ゲバ・赤軍・爆弾闘争を理解する用語集

評論家 高木正幸

中核と革マルの内ゲバ

しばしば「大衆運動の中核派」にたいして「組織づくりの革マル派」といわれる。「大衆闘争」に、三七年の大学管理法案粉碎闘争の統一行動などで、他党派との統一行動のあり方をめぐつて意見が分れた。中核派が「大衆運動においては他党派とも一致した点で統一すべきである」と「組織純化」を説いたのである。

運動論についても、労働者階級との連帯に重きをおく革マル派に対し、中核派は、学生が労働者の先駆となつてまず行動することを主張する。「組織の革マル」に対して「行動の中核」という言葉があるのもそのためのものだ。

以上のような組織論、運動論の相違による対立は、三八年の分裂以来づくが、現在のような殺人テロまで伴う悲惨な内ゲバ戦争に突入したのは、ここ数年のことだ。その「火ブタ」を切つたのは中核派であり、同派

は、「反革命」と規定しての「全面戦争」へ突入した。その間のリードあるいはテロ殺人のうち、ど金集めに懸命だ。

そのほかにも、たとえば中核派は「キュー・バはスターリンにたいして「組織づくりの革マル派」といわれる。「大衆闘争」に、三七年の大学管理法案粉碎闘争の統一行動などで、他党派との統一行動のあり方をめぐつて意見が分れた。中核派が「大衆運動においては他党派とも一致した点で統一すべきである」と「組織純化」を説いたのである。

運動論についても、労働者階級との連帯に重きをおく革マル派

中核と革マルの資金源

革命状況のとらえ方の相違も、兩者の対立点となつた。七年末、中核派が「いまや日本の階級闘争は内乱的死闘の時代に入った」として、「一月決戦」を行つたとき、革マル派は「革命的情勢の切迫などというのではなく、六〇年安保闘争の主役となつた。主役となつた。その後、次々に分裂してゆく中で、革共同系の中核と革マルは三八年の分裂以来づくが、現在のような殺人テロまで伴う悲惨な内ゲバ戦争に突入したのは、ここ数年のことだ。その「火ブタ」を切つたのは中核派であり、同派は四四年一二月の全学連大会で、革マル派を「武装反革命集団」「第二民青」と規定、そのせん滅宣言を出した。そして、昭和五〇年七月一八日、東京・新宿駅での中核・革マル両派の衝突で、計三三〇人が逮捕され、うち中核派一三人、革マル派二三人が、実力行為で起訴されたが、そのほかに多數の負傷者が両派に出た。その裁判の費用や治療費はかなりかかるわけ

で、この事件は、下り坂といわれる両派の財政にとつてかなりの打撃を与えたことは事実だ。かつては一〇万円単位といわれた保釈金も、いまは一〇〇万円

で、この事件は、下り坂といわれる両派の財政にとつてかなりの打撃を与えたことは事実だ。かつては一〇万円単位といわれた保釈金も、いまは一〇〇万円

で、この事件は、下り坂といわれる両派の財政にとつてかなりの打撃を与えたことは事実だ。かつては一〇万円単位といわれた保釈金も、いまは一〇〇万円

で、この事件は、下り坂といわれる両派の財政にとつてかなりの打撃を与えたことは事実だ。かつては一〇万円単位といわれた保釈金も、いまは一〇〇万円

で、この事件は、下り坂といわれる両派の財政にとつてかなりの打撃を与えたことは事実だ。かつては一〇万円単位といわれた保釈金も、いまは一〇〇万円

はしがき 化学物質のはんらんで、食べるものがいいという言葉が、住民の間に生じている、事実、水俣病、イタイイタイ病、森永ヒ素中毒事件、カネミP.C.B.米ヌカ油事件、牛乳のB.H.C.など悲惨な事件がおきていることから、現実に有害化学物質の恐ろしさを目あたりにみつけるわけで、当然の考え方である。

防腐剤のA.F.、酒のサリチル酸塩、チクロ、サッカリ、あるいは石油蛋白などの問題が生じていてことと、化学物質の食品への乱用であつて、その危険性につき身に切実に感じるのである。

化学物質のはんらんは企業の合理性と利潤追求に始まるわけであり、また行政がそれをきびしく取締らぬところから出発している。これに対し、個人の力で防ぎ止めることは非常にむつかしいので、住民の力で排除する運動によらなければならないが、ここでは台所を中心とする日常生活、とりわけ食品を中心として有害物の侵入過程およびその防ぎ方を検討する。

有害物質

台所に侵入する

現在の社会では、食糧の自給自足ということはできなく、すべてが消費者という立場にある。このために、個人の食品公害に対する予防はきわめて消極的に食品公害を惹起するルートを理的にあげると、次のようにな

食品の中に有害物質が入る、または食器、調理器具より有害物質が食品に移行する現象を一般的に食品公害といふ。食品公害を惹起するルートを理的にあげると、次のようにな

BC1570年頃 エジプトでアメンホテップにより第18王朝が成立する。新王国時代が始まる。

台所汚染と防ぎ方の用語集

東京医科歯科大学教授

柳沢文徳

I・食糧生産段階での有害物質

の汚染 (1) 農薬の撒布による農作物への残留、(2) 家畜・家禽・養殖魚の飼料の有害物質の汚染による有害化、(3) 水質公害による水中にいる魚類の有害物質の汚染により、農作物の有

害物質による汚染 (例えはイタ

イタイイタ病、カドミウム)。

II・食品材料の流通機構中の有害物質の汚染

(1) 食品加工工場における有害物質の使用、(a)

食品添加物、(b) 製造工程での使

用 (カネミP.C.B. 事件)、(2) 中性洗剤の使用、(3) 有害物質の誤

用、(4) 食器・調理器具の有害物

質の存在、(5) 消毒剤の使用 (次

アソシ酸ソーダ、逆性石けん)

などである。

何故に有害物質が使用されるかといふ問題を端的に述べれば、企業、生産者の生産向上と利潤の追求といふことはできなく、原則的にはすべて健康のためにマイナスのものであることを知らねばならない。

現在の社会では、食糧の自給自

足といふことはできなく、すべ

てが消費者といふ立場にある。

このために、個人の食品公害に

対する予防はきわめて消極的にならざるを得ない。危険なもののが入っていると考えられるもの

は可及的にさけるとか、調理に際して、除去できる物はそれなりの対処をするぐらいである。

中性洗剤 発ガン物質と一緒に作物への残留、(2) 家畜・家禽・

養殖魚の飼料の有害物質の汚染による有害化、(3) 水質公害によ

る水中にいる魚類の有害物質の汚染により、農作物の有

害物質による汚染 (例えはイタ

イタイイタ病、カドミウム)。

III・食品材料の流通機構中の有害物質の汚染

(1) 食品加工工場における有害物質の使用、(a)

食品添加物、(b) 製造工程での使

用 (カネミP.C.B. 事件)、(2) 中性洗剤の使用、(3) 有害物質の誤

用、(4) 食器・調理器具の有害物

質の存在、(5) 消毒剤の使用 (次

アソシ酸ソーダ、逆性石けん)

などである。

何故に有害物質が使用されるかといふ問題を端的に述べれば、企業、生産者の生産向上と利潤の追求といふことはできなく、すべ

てが消費者といふ立場にある。

このために、個人の食品公害に

対する予防はきわめて消極的にならざるを得ない。危険なもののが入っていると考えられるもの

が入っていると考へられるもの

は可及的にさけるとか、調理に際して、除去できる物はそれなりの対処をするぐらいである。

中性洗剤 発ガン物質と一緒に作物への残留、(2) 家畜・家禽・

養殖魚の飼料の有害物質の汚染による有害化、(3) 水質公害によ

る水中にいる魚類の有害物質の汚染により、農作物の有

害物質による汚染 (例えはイタ

イタイイタ病、カドミウム)。

IV・食品添加物の害

染色体異常 赤色一〇四号、カ

フェイン、サッカリなどがあ

げられている。農薬に染色体異

常を起すものが多い。

塩ビモノマ・塩化ビニール樹脂に存在する。ごく最近アメリカで指摘された。食器が問題で

ある。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのかがまったくわか

らない。これがいわゆる有

る言葉も生じないわけであ

る。また食品に対する消費者運

動もおきない。

現在、住民がもっとも恐れてい

るのは、発ガソリン物質と催奇形性

の物質である。染色体異常、突

然変異などといふ言葉が日常

語になってきているが、染色体異常を起す物質は、次のように

① 奇型児の発生、② 突然変異と

して子孫に遺伝が続く。(3) 発ガ

ソリン物質になる、といふことがお

きる可能性がある。ここで発ガ

ソリン物質といわれているものと染

色体異常のわかつているものを

あげてみよう。

亞硝酸塩 食品添加物で発色剤

に使用。胃でアミンと反応して

ニトロソアミンという発ガソリン物質になる。

3・4・ベンツピレン 石油製

品で最近学校給食に添加されて

いるアミノ酸リジンで問題にな

った。強いガソリン性をもつ。

アフラトキシン カビの一種が

つくる毒物で、強い発ガソリン性を

もつ。カビの繁殖のよい食品が

危険である。輸入のピーナツか

品の流動パラフィン(普通は植

ら、アフラトキシンが発見され

て、アフラトキシンが発見され

る。

IV・食品添加物の害

染色体異常 赤色一〇四号、カ

フェイン、サッカリなどがあ

げられている。農薬に染色体異

常を起すものが多い。

塩ビモノマ・塩化ビニール樹脂に

存在する。ごく最近アメリカ

で指摘された。食器が問題で

ある。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

ある。すなわち、安全というの

が一緒になつたら、どのような

作用をするのがまつたくわかる

といわれるものである。

世界保健機関で、色素剤の赤色

二号が二年間の慢性中毒研究か

ら一定の濃度では安全であると

述べたときに、次のような意味

の条件がついていた。(1) 今後研

究を重ねれば、危険なものと分

かるかも知れない。(2) 早速に実

施しなければならないのは、母

体、胎児に及ぼす影響の研究で

時代感覚用語の解説

竹村健

評論家



短評・ジャパン

日本のタテ割り社会において、企業は忠誠とひきかえに家父長的保護を与えてきたが、最近、大企業がこの義務を放棄したとみられるにいたり、大衆は企業への忠誠を問題にし始めた。この結果、日本は大きく変わるかもしれない。

て追い出す必要が生じてきていた。

●昭和五〇年度に入つて顕著な傾向は世界的に高成長時代から低成長時代へ、使いすぎて時代から再利用時代へ入つたということである。本書の巻頭特集の「新傾向用語」として紹介した「ノース・フリル」も「使いこみ時代」も無駄をやめて実質本位に、物をより長く使おうという動きを示している。

●新たに新語として加えたものの多くは同じ傾向のものである。低成長時代に入ると人手不足から「人手過多時代」に入つてくる。企業が儲かっている時代には会社に損をかける「カンペニー・マフィア」的不良社員も存在できるが、こう不況になつては彼ら等を「会社に巣喰うマフィア」とまで強く罪悪視し

●一方、若者の非服従は、さらにより強まる傾向にあるから「ディ・マネジメント」という下部社員による企業経営方向も出てくるのである。高度成長時代には何でも望むものは手に入りそうな気がしていだが、低成長になるとその中からまず自分の最も望むものを見び出す必要が生じる。「チョイス・ポイント」なる新語がアメリカに生れたのも故なしとしない。

●とにかく不安の時代である。アメリカやヨーロッパなどに日本にも遺言への関心が高まってきた。「遺言時代」などという言葉がさやかれるようになるわけだ。

ベトナムのように四六時中戦争という所では若者は「絶望」はしてもシラけないと思われるのである。仕事に受験勉強にシラけ、ナンセンス・クイズに熱中できるのは豊かな平和な世の中だからだろう。

ナンセンス・クイズ 以前から日本には「なぞなぞ」とか「ものはずけ」とか「語呂合せ」のような遊びがあったが、これら遊び以上に非論理、脱論理的なのが昭和五〇年突然流行行

二郎、三郎といふ日本式名前をつけ方から少しは筋が通つてゐる。テレビっ子を「フィーリング・人間」というが論理のなさが誇張されると、ナンセンス・クイズにのみ喜びを覚え強味を発揮することになるのだろう。

わゆる「ナンセンス・クイズ」
（↓別項）に熱をあげている。大人
から見れば、矛盾だらけであ
る。現代の若者がシラける第一
要因は、何よりも世の中が豊か
で平穀無事だからだと考えられ
る。パングラディッシュやインド
のように飢えが身に迫つたり、

得る。この勝論理性がナンセンス・クイズの最大特徴である。もちろん昔のなぞなぞのようになしは筋が通つていて、「かもめのジヨン」が流行している。「ナサンに何人兄がいたか?」の答えは「ジヨナイチ、ジヨナニの二人」であり、これは一郎、

シラケ世代 現代の若者を評して「シラケ世代」ということがある。やけっぱちのようでいて変にさめている、世の中なんてどうせこんなもの、あがいたとてどうにもなりはしないと冷やかに眺めている、したがってその行動は他人から見るとだらけて見える。こういう若者が現代には多いということこそが言葉が生れた。ただし大人が名づけたのではなく若者たちが「シラけるよ」などと使い始めたからである。昔なら「阿呆らしによ」と表現したような気乗りしない時にも使う。ところが全てを「シラける、阿呆くさい」と物憂げに突っぱねる若者がい

たとえば「五羽のすずめが電線に止つていた。鉄砲で一匹を射ち落したら、ほかの四匹も落ちて来た。何故でしょう?」こんな問い合わせに対する正解は一つではあり得ない。全ての考えが間違っていることもあり得る。当然解答者の出す解答は全て出題者によつて否定され、最後に出題者が「皆仲良かつたから」と「正解」を与える。しかしこの答には何らの理屈もなければ必然性もない。全く理屈の通らない世界である。したがつて、同じ問題を別の機会に出した時には「外の四羽は眠つていたから」とか「ショックで一緒に落ちた」とか「でたらめな答」が正解となり

卷之三

親方の収入 親方は協会からの給与で生活しているが、弟子持ちの親方になると養成奨励金や養成費(食料)が支給される。養成奨励金は横綱・大関・12万円、三役・6万円、幕内・3万円、十両・1万5000円。横綱・輪島や大関・魁傑の師匠の花籠親方は約40万円の月給をもらって